

安全上の注意 (必ずお守りください)

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

⚠ 取付けに関する警告

ストライクの取付け（扉側）は、15mm以上の厚みの木材ネタで補強してください。
 本体（床側）は、フローリング床に木ビスにて取付ける仕様になっています。
 コンクリート面直付け・タイル面にはご使用できません。
 床面と扉の隙間を10~20ミリ確保してください。作動不良を起こし、破損の原因となります。

取付け位置は「取付け手順」に従い取付けてください。
 取付け位置が正確でないと、扉・壁面の破損の原因になります。

取付け後、製品が完全に固定されているか確認ください。また、動作確認を行ってください。
 固定・動作が不完全な場合、製品のガタツキ、扉・壁面の破損の原因になります。

⚠ 取付けに関する注意

- 扉自体に上下にガタツキがある場合は設置しないでください。正常に動作しない場合があります。
- 屋外や浴室など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などが腐食して、破損や落下等の原因となります。

⚠ ご使用に関する警告

- 扉のキャッチの際は、必ず手を添えて行ってください。
- ストライク上部に19.6N {2kgf} 以上の荷重を加えないでください。故障の原因になります。
- 本製品施工後の耐荷重は40kgf、または（瞬間衝撃60Kg・m/s）です。それ以上の荷重を加えますと、ストライクのピンが押し上げられたり、ピンが破損して、扉（ガラス戸）等が破損してケガをするおそれがあります。

⚠ ご使用に関する注意

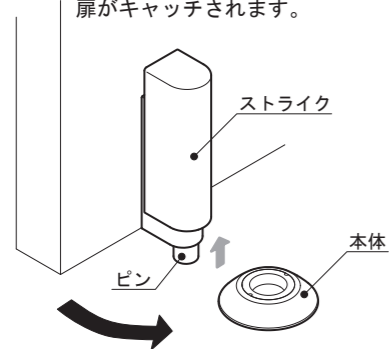
- 本体のバンパーに、異物を入れないで下さい。入ってしまった場合は速やかに取り除いてください。異物が入った状態で動作させますと、扉がキャッチされず、扉・壁面の破損の原因になります。
- お手入れは乾燥した柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい時は水、又は水で薄めた中性洗剤（5~10%程度）を含んだ布で拭き、乾燥した布で水分を拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、酸やアルカリ性の洗剤、クレンザー等はご使用にならないでください。

動作方法

取外し方法

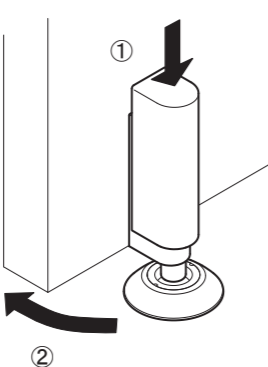
扉のキャッチ

扉を開けると、ストライクのピンが本体の傾斜を滑り凹部に入り込み、扉がキャッチされます。

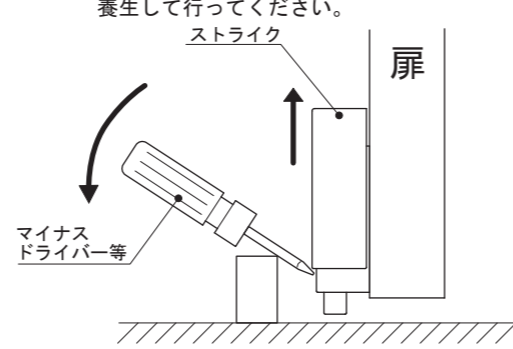


扉のリリース

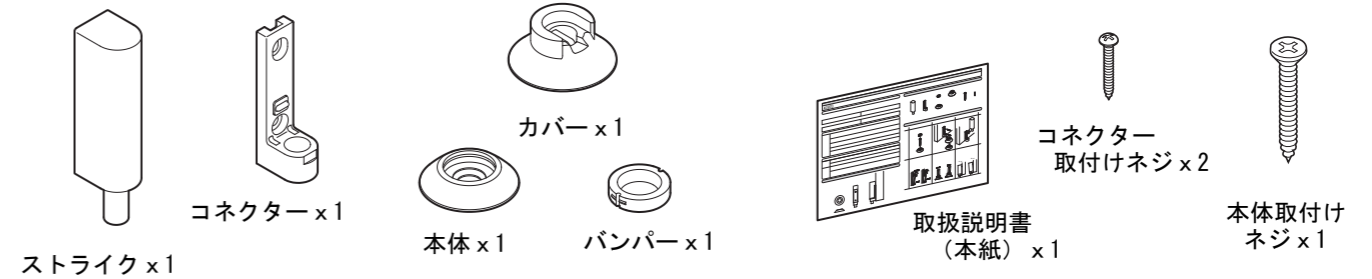
ストライクの上部を押しますと、ピンが上がり、扉がフリーになります。



図のように、ドライバーを挿し込み、てこの原理で外します。扉や床・商品に傷つけないように、養生して行ってください。



同梱部品

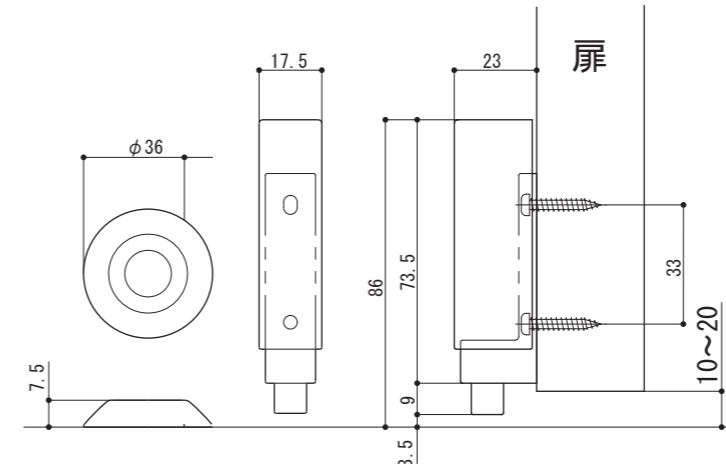


取付け手順

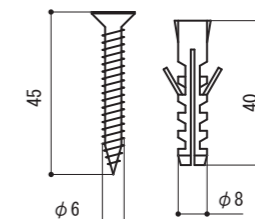
	1	2	3	4
取付け手順	取付け位置を決めます。	本体を本体取付けネジにてしっかりと取付け、バンパーを押し込み嵌めます。	1で取付けた本体に、カバーを確実にカブせせの上にコネクタをのせ、コネクタ取付け位置を決めます。	2で取付けたコネクタに、ストライクを取付けます。動作確認を行ってください。
注意点	扉を開けた時にレバーハンドルが壁に接触しない位置に取付けてください。ヒンジに近い位置に取り付けると、扉のしなりでレバーハンドルが壁に接触する事があります。	取付ネジは、まっすぐに締め込んでください。斜めに締め込むとバンパーが入りきらずに正常に動作しません。	コネクタと扉が当たる位置でコネクタ取付けネジを締め、コネクタを固定します。	ストライクは、扉に平行にカチンと手応えがあるまで、差し込んでください。

製品寸法

オプション

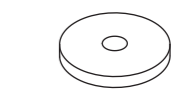


●直貼りフローリングで取付けネジがコンクリートに干渉してしまう場合は、オプションのコンクリート用樹脂プラグφ8-40(ネジφ6-45)をお買い求めください。



AC-0645P (オプション)

●フローリングのレベル差によりストライクピンを通常よりも高い位置に取り付ける必要がある場合、オプションのスペーサー(AC80315)を用いて、本体を底上げしてください。



AC-80315 (オプション)